

柔道ルネッサンススピーチ内容

2005.3 南條 和恵

こんにちは。

ただいまご紹介に預かりました南條和恵です。

このルネッサンス運動も始まって数年たちますが、当初、この活動を開始するにあたって、柔道関係者の日本武道館の使用状況が非常に悪かったということがきっかけのひとつであったと聞いています。

私はそれを聞いて大変ショックを受けました。というのは、他の武道の大会やコンサートなどで使用した後よりも柔道大会で使用した後が一番汚かったということだったからです。自分自身を含め、礼節を重んじる柔道をしている人間が、施設を使用した後に何も考えずに散らかしたままで帰っていつているのだ、ということを感じました。

ただし現在は、様々な活動を通じ皆さんの理解をいただき、少しずつ状況も変わってきているそうです。

それを聞き一安心したいところですが、今日は私なりに柔道ルネッサンス活動を捉えて皆さんにお願いをして帰りたいと思います。

それは、「活動だから」ごみを拾って下さい！というものではありません。柔道を志している我々ですから、『お互いが気持ちよく過ごせる為に・・・』という言葉をつけて少し行動してもらいたいのです。

例えば、施設を貸した方も柔道に利用してもらったら元通りの形で大会を終えてくれる・・・。そうするとごみだらけで返されるよりも貸した側も気持ちいいということになると思います。トイレの使用の後、スリッパを揃えておくと次の人は気持ちがいいですね。また、大きな声で挨拶されて気持ちいいと思わない人はいません。

私は、そういう気持ちを持つことがこのルネッサンス運動に繋がると感じています。

本日はご清聴ありがとうございました。